

2010年5月19日

中国人新卒採用を仲介

リンクアンドモチベーション 日本企業から受託

組織コンサルティングのリンクアンドモチベーション（L&M）は、中国の名門大学に在籍する大学生や大学院生の新卒採用を日本企業から受託する事業を6月から始める。研究開発に必要な頭脳や、現地法人の幹部候補生を確保したい企業のニーズに対応する。料金は成果報酬式で、1人の入社決定につき160万円を請け負う。

L&Mは顧客企業から採用したい人物や専門分野をヒアリングし、中国

人学生のデータベースから候補者を複数抽出。中国人向けに独自開発した適性テストや面接で選考を進め、最終段階で顧客企業の担当者が立ち会い、採用の是非を決める。

データベースに登録する学生の募集は、提携関係にある人材サービスのクレディコム（東京・渋谷）、ファースト・パートナーズ（同・新宿）の2社が担当する。

クレディコムは清華大学や北京大学など北部の名門大学と日本企業の人

材マッチングで実績がある。ファーストは復旦大学や上海交通大学など中南部の名門を中心に担当する。

2社は就職先に学生を推薦する権限を持つ大学教授や大学当局の人脈を活用。日本企業への就職が決まった学生に対し、基礎的な日本語や日本のビジネス慣行を身に付けってもらう研修を施す。

中国での知名度が低く、少数しか採用しない企業にとって、現地での採用活動はコストがかさむ。大学運営当局の人脈がないと募集告知すら難しいという。欧米留学経験のない中国の若者には、先端分野の日本企業で技術者や研究者のキャリアを磨きたい人も多く、両者のマッチング需要が拡大すると判断した。